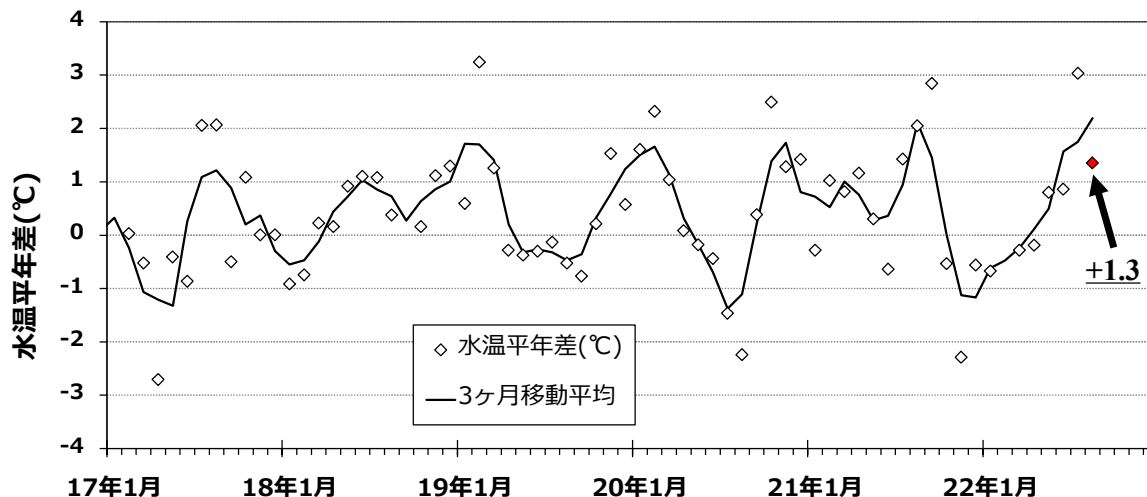


## 【水温の変動】

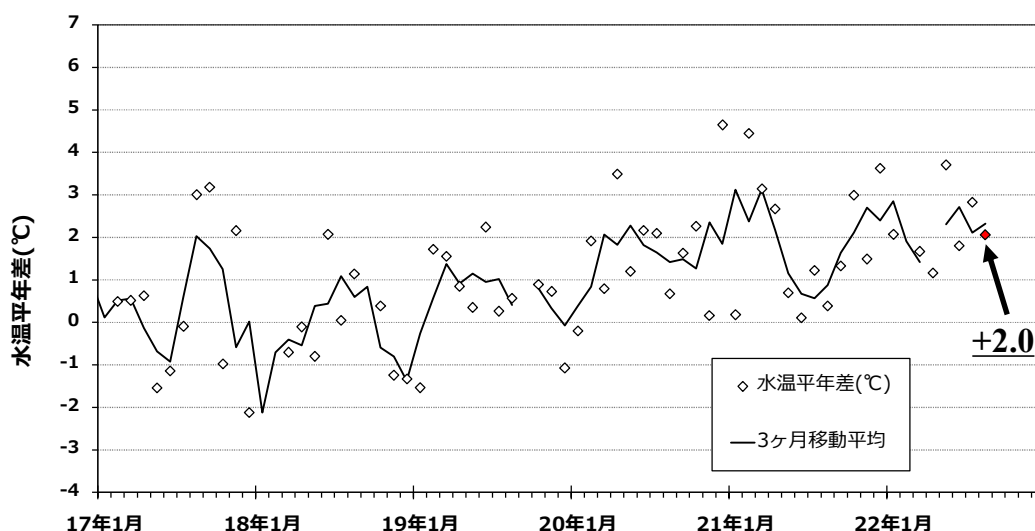
8月3、4日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+1.3°Cでやや高めとなっています。沖合域は平年差+2.0°Cで高めでした。8月3日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖から南下を始め、熊野灘沖の北緯30度付近を通過して、北緯34度付近まで北上し、大王崎沖に接岸した後、房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっています。黒潮が渥美半島に接近しているため、渥美外海では暖水波及が強まっています。また、伊勢湾湾口部から御前崎の沿岸部にかけては、比較的水温が低く、25°C前後となっています。

### 湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



### 沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

## 【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 22.9~30.9℃、水深 100m で 15.0~18.5℃、水深 200m で 12.5~14.7℃となっていました。水温の鉛直断面図をみると、等温線は沖へ向うほど高くなっており、東向きの強い流れがある模様です。クロロフィル a 濃度は、沿岸域 (A1~A10) の表層~20m 付近で最も高く、中間域から沖合域では水深 50m 付近に極大層が見られました。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

